

第34回奈良市子ども・子育て会議 会議録			
開催日時	令和5年7月6日（木） 午後1時～午後3時		
開催場所	オンラインを併用したハイブリッド形式 ※本会場は奈良市役所 北棟2階 202会議室		
出席者	委員	大方会長、浜田副会長、岡澤委員、岡田委員、國原委員、栗本委員、栗原委員、櫻井委員、田中委員、辻中委員、山下委員 【計11人出席】	
	事務局	【子ども未来部】 小澤子ども未来部長、松原子ども未来部次長、東浦子ども未来部参事、釋子ども政策課長、岡本保育所・幼稚園課長、松田子ども育成課長、穴尾子育て相談課長、阪口一時保護課長、田村子ども支援課長 【保健所】 米野母子保健課長 【教育委員会事務局】 松浦教育政策課長補佐、利川地域教育課長補佐、川口学校教育課長補佐	
開催形態	公開（傍聴人：0名）	担当課	子ども未来部子ども政策課
議題 又は 案件	報告案件 ①第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン）の進捗状況について ②令和5年度奈良市子ども会議について ③令和5年度移動あそび場事業について		
決定又は取り纏め事項	<ul style="list-style-type: none"> ・第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン）の進捗状況について、主な事業の令和4年度実績を取りまとめた資料を提示し確認いただいた。 ・奈良市子ども会議・移動あそび場事業について、資料を提示し確認いただいた。 		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
報告案件 （1）第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン）の進捗状況について <ul style="list-style-type: none"> ・委員より、事業計画の進捗状況に対する意見や評価は、第三期計画の策定にあたってどのように活かされるのか質問があった。 ・事務局より、第二期計画の成果・課題を整理し、それと併せて「ニーズ調査」としてアンケート調査を行い結果を整理したうえで、第三期計画に向けていただいたご意 			

見等も踏まえ進めていく。また、令和4年度の事業計画の進捗状況に対する委員からの意見・評価は各担当課に伝え、その内容の反映や見直しは適宜各課で対応していると回答した。

・委員より、事業計画の進捗報告は対応件数についてまとめられているが、例えば病児の保育等では希望件数に対して対応件数が何件なのか、ニーズに対しての受け皿が足りているのかがわかりにくいため次回からはその点も示してほしいという意見があった。

・事務局より、各ニーズに対してどのくらい応えているのか、もしくは断っている事例はあるのかどうか把握した資料は現時点では無いため、どのような表し方が適当か検討すると回答した。

・委員より、資料1-2の20ページの「多様な事業者の参入促進・能力活用事業（小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業の利用支援事業）」は上限2万円の助成をしているようだが、助成の要件はどのような内容か質問があった。

・事務局より、要件や審査はなく保護者全員に給付していると回答した。

・委員より、「多様な事業者の参入促進・能力活用事業（小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業の利用支援事業）」で示されている「11人」とは令和4年度に2万円を限度額として給付した保護者の人数が11人という認識で合っているか質問があった。

・事務局より、まず多様な集団活動事業とは、認可外保育施設で、1日4時間以上8時間未満、週5日以上開いている施設が該当しており、その該当施設を利用する保護者への助成であると回答した。

・委員より、出産・子育て応援事業はこんにちは赤ちゃん訪問と同事業なのか質問があった。

・事務局より、出産応援給付金は、妊娠届出時に面談等を行い妊娠期間をサポートしながら給付する支援で、子育て応援給付金はこんにちは赤ちゃん訪問か新生児訪問のどちらかを受けてもらい、面談等を行い寄り添いつつ給付する支援であると回答した。

・委員より、こども基本法が制定され子ども本人からの意見を聞かなければならない

規定が明記されたが、事業計画の全体的な部分に対して質問票にコメントしても良いのか質問があった。

- ・事務局より、問題ないと回答した。

- ・委員より、一時預かり事業は私立園だけでなく公立園でもニーズはあると思われるが実施しているのか質問があった。

- ・事務局より、公立園では一時預かり事業は行っておらず、私立園のみ行っている。また、ここ数年は私立園の新設の公募条件として一時預かり事業の実施も条件にしており、保育の受け皿の確保に協力いただいていると回答した。

- ・委員より、エンゼルサポート事業について、利用できなかった子育て家庭に対する支援はどうしているのかと質問があった。また、一時預かりの保育料はかなりの金額になるため、利用する保護者に対して助成があればいいのではないかという意見があった。

- ・委員より、バンビーホームの質の充実を考えてほしいという意見があった。各バンビーホームに学童保育の内容は任されており、需要が高いにもかかわらず質が悪くなることを理由に利用者が辞めていっているという意見があった。

- ・委員より、上記のバンビーホームへの意見に対して、バンビーホームや先生によって内容が変わることはあるが、小学校は保育園と違い人数も学年も増え個人の事情で辞めていっており、バンビーホームの環境が悪いから辞めていっているわけではないと思うという意見があった。

- ・委員より、バンビーホームの指導員の研修はどのように行っているのか、また市はどのような学童保育を目指しているのか質問があった。

- ・事務局より、担当の地域教育課が欠席のため後日回答すると回答した。

(2) 令和5年度奈良市子ども会議について（運営及び募集状況等）

(3) 令和5年度移動あそび場事業について

- ・委員より、今年度の子ども会議のテーマは去年の移動あそび場というわかりやすい

テーマと違い漠然としているが、市政にどのように反映させていくのか質問があった。

・事務局より、今年度は各テーマの担当課において、子ども達の意見が実現可能かを予算や人材等の都合も鑑みて精査し、市政に反映できること、できないことを子ども達に回答する予定と回答した。

・委員より、あそび場支援アドバイザー派遣事業について、専門家の派遣のイメージが湧かないが、具体的にどのような団体が派遣を希望すると想定しているのか質問があった。

・事務局より、例えば自治連合会や子ども会の方、子ども食堂をされている方、子どもを対象にイベントを開催したい又は実施しているが専門家のアドバイスを聞きたいという方に周知していると回答した。

・委員より、子ども向けの活動をしている団体はあると思うが、どういう指導をするのかわからないし、子ども達にとって必要なのは遊びの指導ではなく自由で安全に遊べる場所・空間であるため、その場所を確保したうえでアドバイザーを派遣することが適切だという意見があった。

・事務局より、学校の校庭や公園のルール・規制が厳しく利用が思うようにできないという地域団体・住民からの意見があり、特に公園についてはルールや利用時間等の見直しができないか関係課と地域で協議を進めている。ただし団体の申し込みがあればその団体の責任の下ある程度自由に利用ができるため、希望のある地域であそび場の工夫をしていこうと試みていると回答した。

・委員より、子ども会議のテーマについて「クリーンセンターがみんなに親しまれる場所になるためには」としているが、なぜ親しまれる場所である必要があるのか質問があった。

・事務局より、火葬場等は迷惑施設として市民からは敬遠されがちな施設だが、都市部ではごみ処理場の付近を緑地公園として整備し市民が集い憩える場所にしていく工夫をしている自治体もある、そういう場所にしていくために子ども目線の意見をいただきたいという思いからテーマ設定をしていると想定されると回答した。

・委員より、あそび場支援アドバイザーに関して、「自治体の同意を得る」のは自主的にグループ活動をしている保護者等にはハードルが高いのではないかという意見があ

った。また、子ども会議に関して、今回は各テーマに担当課があるのであれば、ファシリテーターだけではなく専門的知識のある担当課職員が子ども達の話し合いに入り意見を吸い上げていくのが良いという意見があった。

・委員より、子ども会議やプレイリーダー養成講座について周知方法をもっと工夫すべきという意見があった。

・委員より、保育士の要件の緩和や待遇改善について何かしらの改善策を考えてほしいという意見があった。

資料	<p>【資料1-1】第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン）令和4年度進捗状況一覧</p> <p>【資料1-2】第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画（奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン）の令和4年度進捗状況について</p> <p>【資料2-1】令和5年度「奈良市子ども会議」について</p> <p>【資料2-2】令和5年度子ども会議参加者募集チラシ</p> <p>【資料3-1】令和5年度奈良市移動あそび場事業について</p> <p>【資料3-2】あそび場支援アドバイザー派遣募集チラシ</p> <p>【資料3-3】プレイリーダー養成講座募集チラシ</p> <p>【別添】なら子育て情報ブック 2023年版</p>
----	--